

【議案第1号-1】

平成27年度 社会福祉法人ふたば園
事業報告

平成27年度の基本計画に係る概況について〈法人統轄事項〉

1) 継続事業について〈各事業拠点別 事業報告 参照〉

2) 新規事業検討について

- 法人が取り組むべき地域ニーズとして、グループホーム事業と訪問介護事業展開の検討を行ったが、建設予定地の目途が立たず、今後も継続事業とする。

3) 経営計画実施状況について

A) 新人事給与体系への移行

- 平成27年4月より、「職務職階制」による基本給表に基づく人事給与体系と共に、専門資格の所持に係る手当や変則的な勤務に対する手当の支給を実施した。また、「人事考課」についても、引き続き実施し今後は見直しも視野に入れながらより良い人事考課制度となるよう検討していく。

B) 人材確保について

- 年度内の異動については、新規採用者は15名（有期契約常勤7名、非常勤・パート・アルバイト8名）、退職者は17名（正規2名、有期契約常勤7名、非常勤・パート・アルバイト8名）であった。

4) 職員研修について

A) 法人内部研修

- 「法人研修委員会」の計画の下に、法人新任研修、中級職研修、上級職研修、指導職研修を実施した。その他、応急救命、感染症予防研修も実施する。

B) 各種外部研修

- 県内・県外で開催される各種研修参加を実施した。

5) 役員会

A) 評議員会の開催（定例会）

- 第1回評議員会……………平成27年5月12日（監事・理事選任）
- 第2回評議員会……………平成27年5月27日（決算）
- 第3回評議員会……………平成27年11月5日（マイナンバー関連）
- 第4回評議員会……………平成28年2月25日（1次補正予算）
- 第5回評議員会……………平成28年3月30日（2次補正予算・平成28年度予算・理事選任）

B) 理事会の開催（定例会）

- 第1回理事会……………平成27年5月12日（監事・評議員選任）
- 第2回理事会……………平成27年5月12日（理事・理事長選任）
- 第3回理事会……………平成27年5月27日（決算）
- 第4回理事会……………平成27年11月5日（マイナンバー関連）
- 第5回理事会……………平成28年2月25日（1次補正予算）
- 第6回評議員会……………平成28年3月30日（2次補正予算・平成28年度予算・理事選任）

6) 監 査

- 決算監査（年1回 平成27年5月18日実施）

7) 会議開催

A) 施設長会議

- 個別協議等を含めて随時開催した。

B) 管理職務者会議

- 今年度より月1回の定例開催した。
- 常設会議として「人事給与ワーキング会議」を設置した。
- 「法人研修委員会」を設置。

C) サービス品質管理委員会（QC委員会）

- 月1回の定例開催した。

D) プロジェクト会議

- 「ふたば園まつり実行委員会」を前年度3月より実施月（5月）にかけて開催した。

E) その他

- 「ほほえみ運動会実行委員会」を関係施設と7月より実施月（9月）にかけて開催した。
- その他、各事業毎に関係機関との連携・連絡会議に参加した。

8) 情報提供

- 法人事業のインターネットを通じて情報発信・公告の拠点として、ホームページを運営

9) 地域活動

A) 地域活動・イベントの実施・参加

- 主催イベントとしては、地域交流を目的とする「第7回ふたば園まつり」を5月16日に開催した。
- その他に、地域開催イベントへの参画を継続した。

B) 法人が管理する施設設備等の活用推進

- 河添介護予防センター ほほえみはもとより、からふる内のおもちゃ図書館の地域開放を継続した。
- 法人の管理するマイクロバスの貸出を、萩・長門地域の学校・スポ少関係を主に提供した。

平成 27 年度児童発達支援センターからふる事業報告

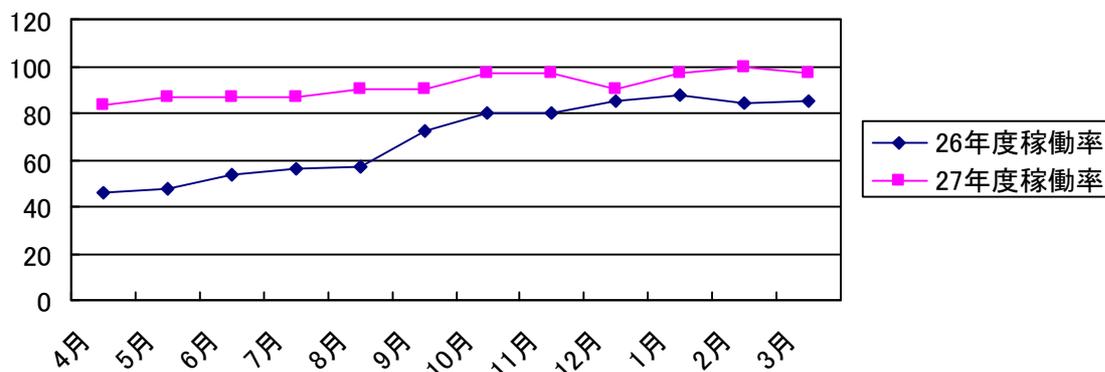
関係機関や地域との連携がより強固になり、併せて気になるお子さんへの早期からの支援の必要性が重要視されてきたこと等で、昨年度同様、萩市の子ども数は減少傾向にあるものの、からふるの利用児は増加傾向となった。支援の必要な子どもにあった療育を実施できるよう、療育メニューの巾を広げ、地域のニーズにできるだけ応えるべく取り組んだ。

その結果、からふるの運営や経営は安定してきているといえる。

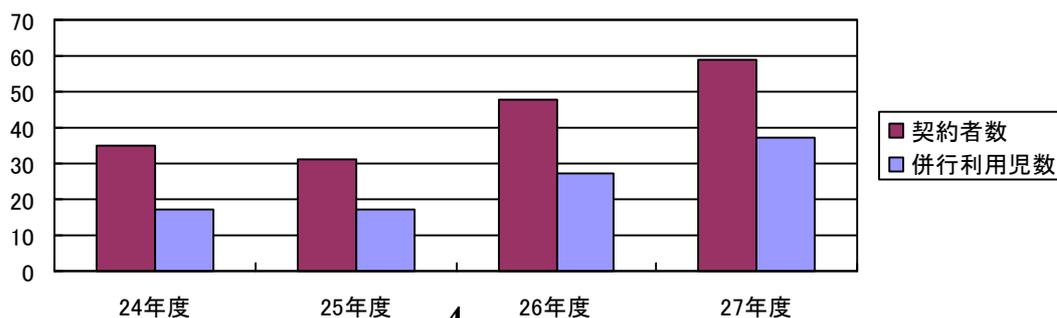
【児童発達支援事業】

- 26 年度末利用者が 51 名であり、27 年度 4 月の年度当初では契約児は 44 名と多く、又稼働率も 80%を超える状態での開始となった。そのため、年度を通じて 80%を超える稼働率となり、例年と比較すると安定した運営となった。(図 1)
- 26 年度から、実施されている 5 歳児相談会から、事業利用につながるケースが多く、その傾向は 27 年度には一層顕著になった。ただし、年度当初から利用者が多い状況が続き、利用を待機していただき秋以降に利用調整するなどの状況が生じた。
- 利用契約児は増加していると同時に併行利用児も増えてきており、他機関との連携や就学支援など、職員の業務量や事務量が増える傾向にあった。(図 2)
- 保護者支援のための延長保育は 13 名の登録がされた。(8:00~8:30、14:30~18:00) 可能な場合は、保育園まで送るなどして延長利用人数減を図ったが、保育園の受け入れの問題や本人の切り換えの難しさがああり、利用人数は増加している。

(図 1)

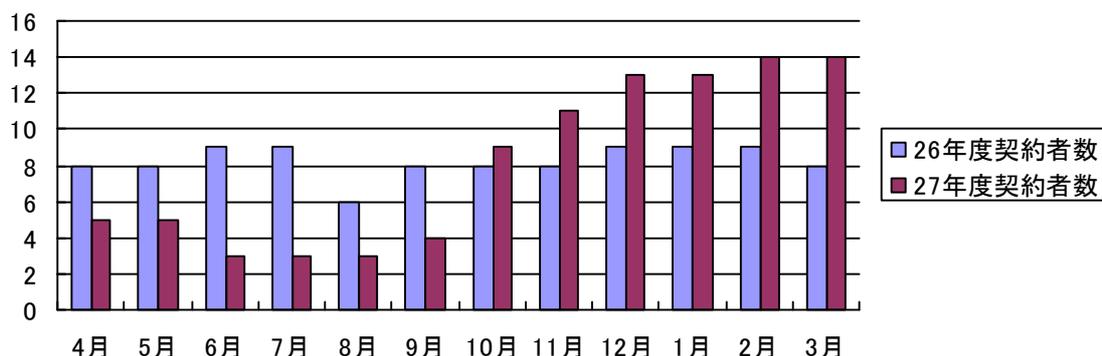


(図 2)



【保育所等訪問支援事業】

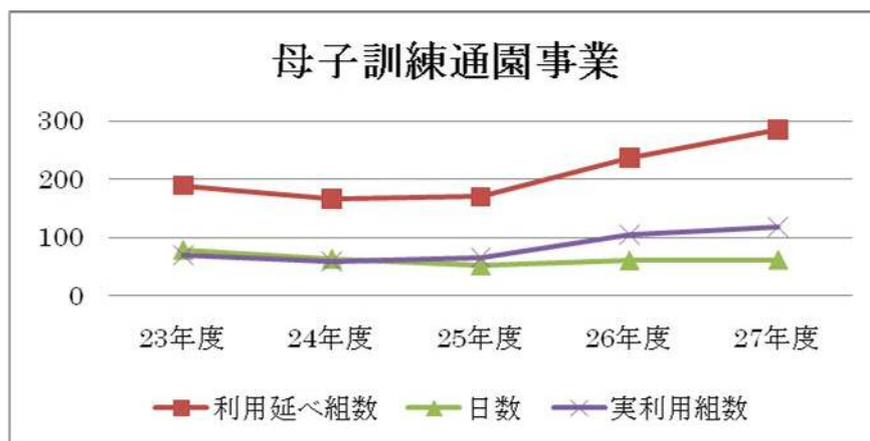
- 言語聴覚士・心理士・保育士の多職種が訪問して療育を行うことで支援の巾が広がった。また、利用希望も増えてきているが、全てに対応するには職員の調整が難しく、待機をさせていただく状況となった。
- 求められる支援の内容も広がってきているために支援者としての力量と支援の充実はセンター職員全体を通じて引き続き課題である。
- 利用契約児は増加傾向にあるが、職員一人が対応できる人数に限度がある。一方、比較的軽度の利用の方が多く、途中での利用終了も見込まれたため、担当職員が兼務としていた。そのため、後半からの利用増に対応することが難しかった。



【委託事業】

- 母子通園訓練事業

年度始めの計画より利用希望者が増加し、萩市と協議を行い利用定員の拡大を行った。それでも利用調整をするなどが必要となった。

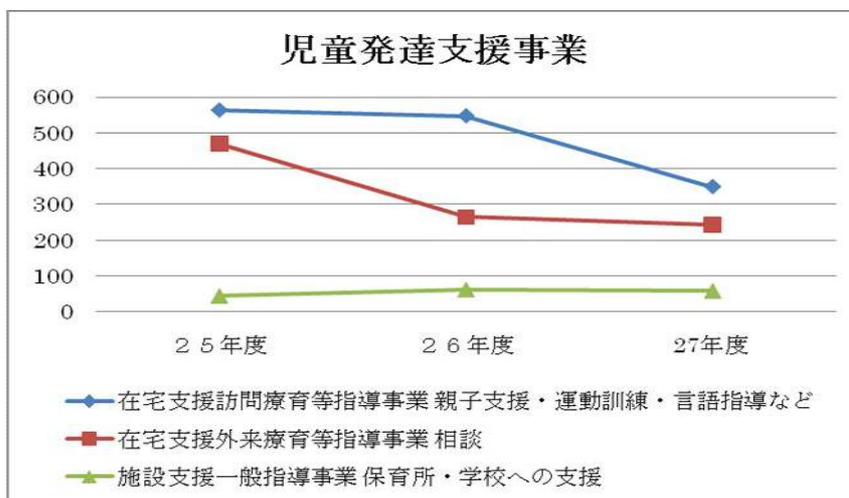


- 障害児等療育支援事業

山口県の委託事業をして 3 事業を柱として実施した。

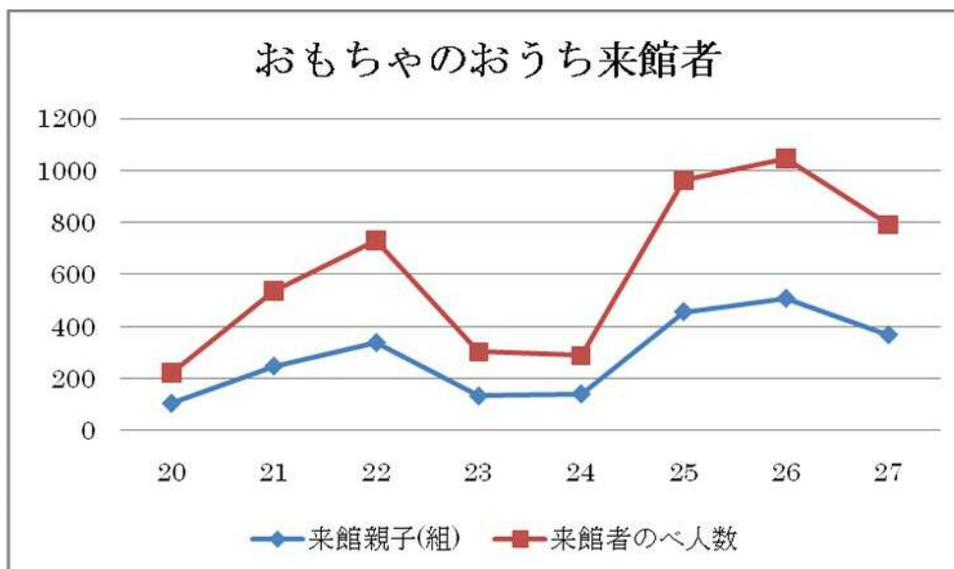
○在宅支援訪問療育等指導事業・・・巡回相談、訪問による健康診査を行った。

- 在宅支援外来療育等指導事業・・・障害児及び家族等に対して相談支援等を行った。
- 施設支援一般指導事業・・・保育所等の職員に対し、療育に関する指導を行った。



【地域支援・地域貢献】

- 児童発達支援の研修会開催（全対象 1 回、学齢児事業所対象 1 回、保育園対象 1 回）
※幼児事業所対象が日程調整がつかず中止
- DVD 貸し出し(教育委員会、学校研修など)
- 萩市 5 歳児相談会・巡回訪問
- ペアレントメンターバックアップ機関として、メンター研修および相談会実施。
- 萩おもちゃのおうち地域開放
※相談日、手作りおもちゃ、親子遊びを実施。読み聞かせのボランティアを派遣してもらい実施



議案第 1 号—1

【人材育成・定着】

- 26 年度と同様に、5 歳児相談チーム、虐待防止チーム、また、労働環境改善会議を設置し、職員の質の向上と働きやすい職場作りを目指した。
- 療育の担当制やクラスを解体したグループ療育を実施し、職員が療育を実施しながら、相互に質の向上が図れるようにした。経験が少ない職員が多く、それぞれが意見を出し合い、考えていける良い機会となった。

平成 27 年度 放課後等デイサービス のびっこくらぶ

事業報告

今年度は、発達年齢に応じた支援の充実に重点をおき、療育支援・余暇支援に取り組みました。子どもたち一人一人の特性を理解し、様々な経験の機会を提供しました。

【療育支援・余暇支援】

- ◆障がい特性に応じた個別の支援、年齢に応じた活動や交友関係構築の支援を行いました。
 - 小学生と中高生の年齢でグループ分けを行い、活動場所についてもそれぞれに合うように環境調整を行いました。

小学生は指導室が広く使えるようになったことで、のびのびと活動できるようになりました。指導室内での活動の幅も広がり、課題等にも落ち着いて取り組むことができるようになってきました。

中高生は、仲間意識が強くなり、友だち同士で励まし合ったり、助け合ったりしながら活動を楽しむ姿が見られるようになってきました。自分たちで考え、協力しながら活動を広げていく場面も増えてきました。また、卒業後を見据え、お仕事活動を取り入れるなど目的を持って活動に取り組めるようにしました。
 - 子どもたちが自発的に且つ意欲的に活動に取り組むことができるように環境を整え、視覚支援を行うことなどに配慮しました。
- ◆地域の社会資源を活用する機会を増やし、その中で様々な体験ができるように支援しました。
- ◆保護者の意見だけでなく、子どもの思いも十分反映した個別支援計画を作成し、個々の支援を行いました。

【関係機関との連携】

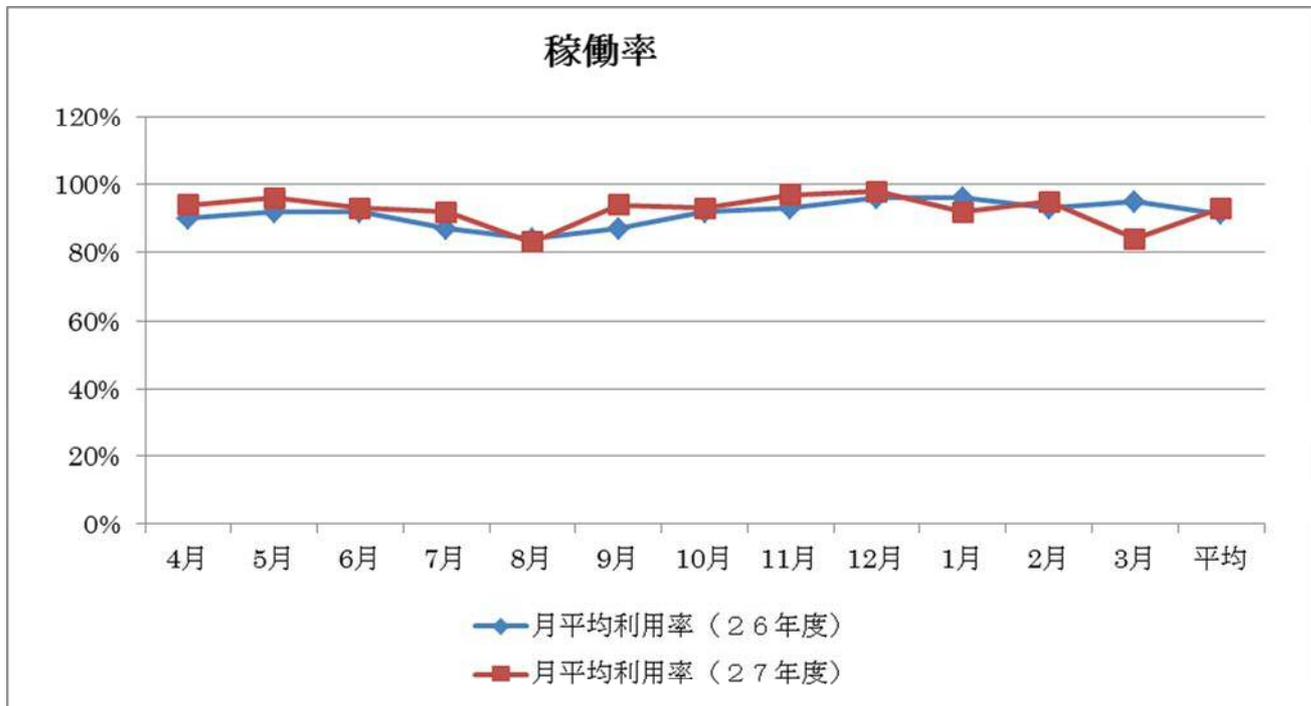
- ◆萩総合支援学校をはじめ市内の小・中学校や関係機関と定期的に情報交換会を行う等、連携の強化を図りながら支援の充実に努めました。
- ◆利用調整をせざるを得ない状況の中、他事業所や相談支援事業所と連携を図りながら子どもたちに必要なサービスが提供できるように努めました。

【自己研鑽】

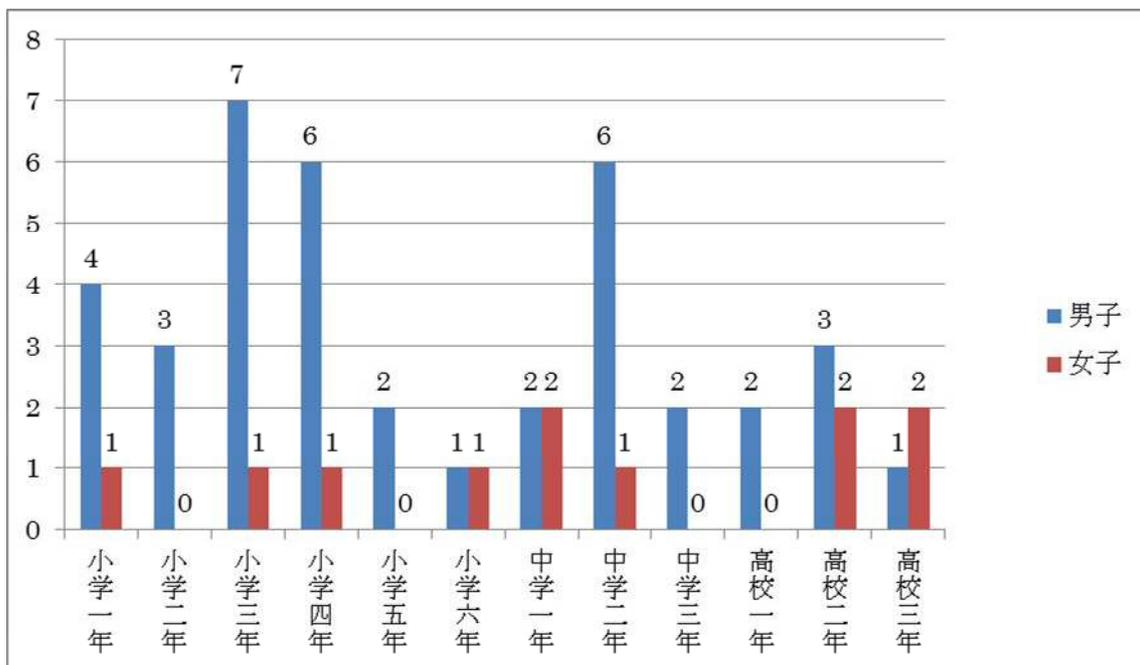
- ◆各種研修会に参加、定期的に内部勉強会を行う等、職員の資質向上に努めました。

利用児童の障害・年齢も幅広く、より一層個々のニーズに合わせた支援が求められており、今後も職員一人一人の更なるスキルアップを図っていくことに努めます。

【利用実態状況】定員：15名



【登録児童の状況 (学年別男女比)】・・・登録児童 55名



総 括

各事業の取り組みをさらに充実したものにしていくために、『利用者主体』の考え方の中でサービスの組み立てを行いました。

就労継続支援A型（喫茶なないろ）

事業所移転より目標としていた、就労継続支援A型（喫茶なないろ）の黒字化については、結果的に達成することはできませんでした。

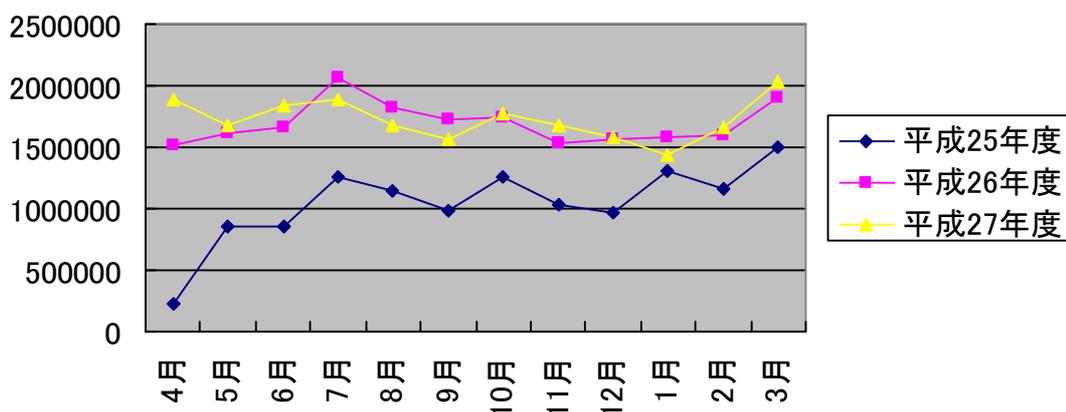
平成 27 年度売上は、喫茶・弁当部門で 2,000 万円、給食提供部門 1,600 万円となり、わずかではあるが、平成 26 年度の収入を上回ることができました。

食材等の支出については、平成 26 年度が、約 1,870 万であったものが、平成 27 年度は、2,000 万円を超えてきており、食材料の値上げの影響をどのように対応していくのかという点で課題が残りました。

また、雇用面については、平成 26 年度同様に事業定員 10 名に対して、12 名のスタッフ（利用者）と雇用契約（時給 735 円）を結び運営を行いました。平成 27 年度より、1 名は常勤雇用化し、障がいを抱えて暮らす方々の社会的自立を支援する事業所として求められる役割についても、その責務を果たすことに努めました。

今後も、商品開発・販促活動の充実を行いながら、顧客の拡大を目指しつつ、事業の黒字化を目指していきます。

喫茶部門売上総額(3年分)



給食事業食数

平成 26 年提供数 28,811 個

平成 27 年提供数 30,826 個

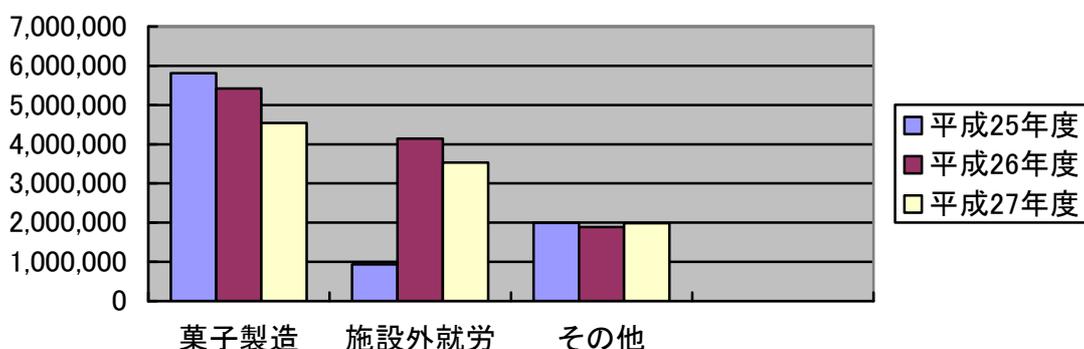
就労継続支援B型

萩米香（はぎこめか）部門では、立ち上げ時から、この事業を中心的に支えていた担当職員が7月に退職し、新しい体制での運営となった結果、7月～9月までの製造（売上）が大幅に落ち込む結果となりました。その後は、昨年度ベースには戻りつつありますが、年度全体を見ると、昨年度末売上から90万円減収となりました。

就労A型・B型共通の課題として、専門職（調理・菓子職人）などの人材確保とその方への福祉理念の教育等がありますが、今回のように、今後も担当職員の入れ替わりで、事業運営はうまくいかななくなるリスクがあるということで、A、Bに特化した人事計画の必要性を認識させられました。

施設外就労については、平成27年度より、しーまーと駐車場、松陰誕生地の2か所が新たに追加となり、施設外就労の上限である14名（定員×70%）での運用が厳しくなる場面もありました。

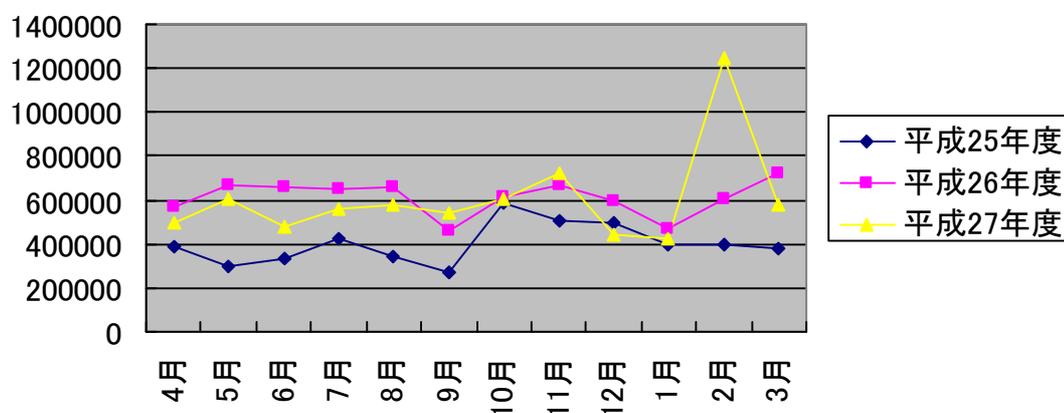
各部門比較(3年分)



工賃実績（月額工賃）については、平成26年度に受託していた市内企業からの仕事がなくなり若干減少することとなりました。

平成27年度工賃実績 18,037円 平成26年度平均工賃 18,369円

工賃支払総額(3年分)



就労移行支援

平成 27 年度は、1 名が就労継続支援 A 型事業所へ就職されました。一般就職は 0 件でした。職場定着支援については、現在も 4 名の方の支援を継続しており、訪問活動や電話での聞き取り活動を継続しています。

生活介護事業

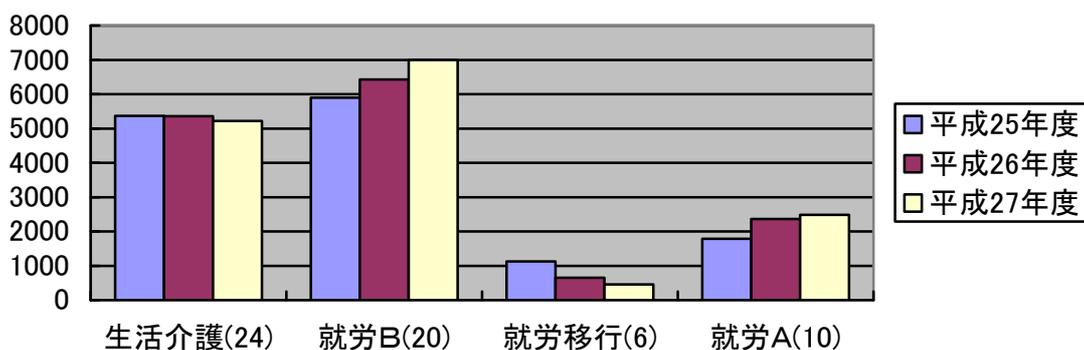
平成 26 年度の事業報告でもあげたように、地域のニーズに対して特色ある事業づくりを目指して様々な取り組みを行いました。中でも、『はたらく』というテーマでは、ご家族の協力を得ながら、毎週火曜日、金曜日に野菜市の開催や、月 1 回の押し花づくりやフラワーアレンジメント、企業からの受託作業（花壇管理、トイレトペーパー配達）等に取り組みました。また、作業療法士を中心とした『健康や機能維持』に向けたプログラムの提供も行いました。

家族の高齢化についての課題（グループホーム・ヘルパーステーション）は、法人のワーキング内で検討を行いましたが、平成 27 年度内では、事業の計画化までは至っていません。

平成 27 年度事業実績

昨年度に引き続き介護事業で利用者数が若干減少傾向（他事業所併用によるもの）、就労継続支援 B 型事業については、増加傾向が続いています。

のべ利用者数比較(3年分)



平成 27 年度平均利生者数

- 生活介護 20.7 名
- 就労継続 B 27 名（施設外就労を含む）
- 就労移行 1.8 名
- 就労継続 A 9.2 名

平成27年度 萩市障害者支援施設 さんみ苑 事業報告

重点事業方針に以下を掲げました。

- ◆地域の拠点施設としての役割が果たせるよう努めていきます。
- ◆誰もが安心して「暮らせる」場、楽しく「過ごせる」場となるよう努めていきます。

○入所支援

- ・施設内での事故防止に向けた取り組みを行いました。
- ・支援主任をリーダーとした医務、保健衛生管理チームで、誤薬を防ぐ取り組みや健康管理について部内検討を重ね、かかりつけ医との連携強化を図りました。
- ・給食チームは、栄養士との協議を重ね、配慮食や介助器具について昨年以上に個別化を図りました。

○生活介護

- ・活動のメニューを増やし個々のニーズに対応しました。
- ・生産活動(鶴惣作業)では多くの方が取り組める、比較的納期の長い作業に取り組みました。今年度、19名の方が携り、年間一括支払いですが工賃を支払いました。

○短期入所

- ・地域ニーズに応じ、新規利用者様の受け入れも行いました。
- ・提供できる居室の指導を受け定員を8名→6名に変更しました。

○日中一時

- ・地域ニーズに応じ、新規利用者様の受け入れも行いました。

	18	H27年度	H26年度		H27年度	H26年度	備考	
		のべ人数(人)	のべ人数(人)	開所日数(日)	利用率	利用率		
施設入所 定員:30名	4月	846	874	30	94%	97%		
	5月	862	895	31	93%	96%		
	6月	862	876	30	96%	97%		
	7月	904	870	31	97%	94%		
	8月	891	885	31	96%	95%		
	9月	870	865	30	97%	96%		
	10月	910	905	31	98%	97%		
	11月	872	852	30	97%	95%		
	12月	892	864	31	96%	93%		
	1月	862	804	31	93%	86%		
	2月	849	756	29	98%	87%		
	3月	905	838	31	97%	90%		
			10525	10284	366	96%	94%	
	平均利用者数				28.76			
平均障害程度区分				4.5				

	H27年度	H26年度	H27年度	H26年度	H27年度	備考
	のべ人数(人)	のべ人数(人)	開所日数(日)	開所日数(日)	利用率	
生活介護 定員:50名	4月	968	1021	23	23	84%
	5月	986	1040	23	23	86%
	6月	986	1038	22	22	90%
	7月	990	1077	23	23	86%
	8月	962	1042	23	23	84%
	9月	953	1034	22	22	87%
	10月	1003	1033	22	22	91%
	11月	948	985	22	22	86%
	12月	961	1049	23	23	84%
	1月	953	991	23	23	83%
	2月	895	907	21	20	85%
	3月	1002	1038	23	23	87%
		11607	12255	270	269	86%
	平均利用者数			42.99		
平均障害程度区分			4.5			

平成27年度	延べ利用者数	開所日数(日)	利用率	利用件数	備考
短期入所 定員:6名	4月	93	30	39%	29
	5月	72	31	29%	20
	6月	59	30	25%	23
	7月	65	31	26%	22
	8月	76	31	31%	31
	9月	62	30	26%	26
	10月	71	31	29%	28
	11月	94	30	39%	26
	12月	63	31	25%	21
	1月	54	31	22%	21
	2月	61	29	26%	25
	3月	72	31	29%	25
	合計	842	366	29%	

平成27年度	延べ利用者数	開所日数(日)	利用率	利用者数	備考
日中一時 定員:2名	4月	6	30	10%	4
	5月	3	31	5%	3
	6月	8	30	13%	7
	7月	10	31	16%	6
	8月	11	31	18%	6
	9月	8	30	13%	6
	10月	5	31	8%	4
	11月	5	30	8%	4
	12月	10	31	16%	7
	1月	3	31	5%	2
	2月	5	29	9%	4
	3月	7	31	11%	6
合計	81	366	11%		

平成27年度 さんみ苑ケアホーム 共同生活援助事業報告

理念:地域の中で自分らしく暮らす

重点事業方針である「より地域へ」を旨に個々の支援計画をもとに入居されている方の将来像に向けた支援を目指しました。

「食事作り」:はいつびわ、ほたるでは、休日の昼食作り、むたがはら、ひじわほ一むは夕食作りを行いました。メニュー、食材の買い出し、調理、片づけと一連の流れの中で、利用者同士も和やかに休日を過ごされています。また食費も平均300円程度で利用料の軽減にもなっています。

「金銭管理」:エネオスカード、イオンカードのクレジット機能を利用して借金(2名)。関連機関(弁護士・社共(権利擁護)・相談センター)と返済支援を行っています。

「苦情」:三見地域の方より利用者の暴言、車に飛び出し、煙草のポイ捨て等、苦情相談がありました。ご本人の行動やコミュニケーション支援に努めています。

・退居者3名。はいつ・ほたる:7月末に1名。むたがはらほ一む:h28年2月末に1名。ひじわらほ一む:h28年2月中旬に1名。

・入居者3名。はいつ・ほたる:8月3日に1名。むたがはらほ一む:h28年3月2日に1名。ひじわらほ一む:h28年4月1日に1名。

		h25年度	h26年度	h27年度	開所日数(日)	h25年度	h26年度	h27年度
		のべ人数(人)	のべ人数(人)	のべ人数(人)		利用率	利用率	利用率
共同生活介護・共同生活援助施設 定員 20人 はいつびわ 6人 はいつほたる 6人 ひじわらほ一む 4人 むたがはらホーム 4人	4月	535	515	562	30	89%	86%	94%
	5月	578	496	557	31	93%	80%	90%
	6月	529	555	554	30	88%	93%	92%
	7月	571	585	555	31	92%	94%	90%
	8月	531	551	561	31	86%	89%	90%
	9月	544	536	542	30	91%	89%	90%
	10月	565	573	577	31	91%	92%	93%
	11月	548	542	552	30	91%	90%	92%
	12月	546	558	556	31	88%	90%	90%
	1月	535	568	563	31	86%	92%	91%
	2月	494	539	536	28	88%	96%	96%
	3月	510	593	564	31	82%	96%	91%
		6486	6611	6679	365	89%	91%	91%
平均利用者数			17.8	18.30				
平均障害程度区分				2.25				

萩市障害者生活支援センター ほっとすぺーす
平成 27 年度 事業報告書

➤ 障害者（児）に対する相談支援

○支援対象者：455人（障害者287人・障害児168人）

○相談支援件数：3317件

➤ 特定相談支援事業（障害者）及び障害児相談支援事業

障害者については平成26年度で障害福祉サービスを利用している方のサービス等利用計画作成はほぼ達成しているため、平成26年度のように大幅な増加はみられなかった。サービスの利用終了、入院や死亡による契約終了もあった。

障害児及び療育が必要な児童については、萩市の早期発見早期療育という方針により、幼児の相談件数が大幅に増え、サービス等利用計画の作成対象児も大幅に増えた。

障害者・児合わせてサービス等利用計画の作成対象者数は平成26年度の365人から平成27年度は418人と増えている。

1人の相談支援専門員の担当ケース数が障害者・児合わせて60～80人となっている。

○サービス等利用計画作成対象

特定相談支援事業	258人	※26年度：250人
障害児相談支援事業	160人	※26年度：115人

➤ 社会資源活用・社会生活力を高める支援

活動名	開催回数	参加者	備考
おでかけツアー	1回	6人	・萩ツインシネマにて映画『バケモノの子』鑑賞後、ガストにて昼食
ミニおでかけツアー	1回	6人	・ボウリング

➤ 生活訓練事業

活動名	開催回数	参加者（延べ人数）	備考
レッツ☆ダンス	20回 (うちイベント参加 2回)	118人 (うちイベント参加 19人)	・8/8『萩総サマーナイトフェスティバル』出演 ・11/29『Hagi 産業フェスタ』出演
ほっとすぺーす講演会	1回	110人	・『障がいのある方の「性」と「お金」の支援について』講師：鹿野佐代子氏
料理教室	1回	4人	
お茶会	1回	28人	

➤ 本人活動支援事業

活動名	開催回数	参加者（延人数）	備考
ほっとクラブ	11回	26人	・自由活動、ストレッチ体操等

➤ 障害者ピアカウンセリング事業

○ピアカウンセラー活動実績

0名・・・0件

○家族のためのグループピアカン

- ・開催：8回
- ・内容：情報交換など
- ・参加者：22名（延べ）

○ぴあクラブ

- ・市民活動センター「結」を会場に、ピアカウンセラーが障がいのある方の相談を受ける場として、H27年度より新たに開始。月1回の開催。
- ・開催：8回
- ・参加者：12名（延べ）
- ・H28年度からは、ほっとクラブの機能と併せ、「相談の場」「活動の場」として実施する。

➤ コミュニケーション支援

○萩市手話通訳設置事業

- ・相談件数：1527件（派遣に関わる調整も含む）
- ・手話通訳専任派遣：87件

○コミュニケーション支援者派遣事業

- ・手話通訳派遣：232件
- ・要約筆記派遣：79件

○コミュニケーション支援者養成事業

- ・手話奉仕員養成講座開催：平成27年6月～12月の15日間
受講者9名

➤ 発達障害児者支援における相談支援機能及びネットワークの構築

○発達障害児（者）支援ネットワーク形成事業〔就労前“集団参加体験”推進事業〕

- ・事業内容：商工会議所等の経済団体の協力を得て、それらが主催する地域イベントに発達障害をもつ若者がスタッフとして準備段階から参加し、共同作業を体験する
- ・体験者：1名
- ・協力団体及びイベント：NPO 法人萩市民活動ねっとまちづくりの会
 - …『秋の収穫祭&ハロウィン with 結まつり2015』
 - シューズサロンさいとう
 - …店舗での開店準備の体験
 - 萩商工会議所青年部
 - …『第4回 Hagi 産業フェスタ』

➤ 職員業務研修（相談援助技術に係る研修、障がい全領域に係る専門研修）

○主な研修派遣

- ・相談支援従事者専門コース別研修（障害児支援）…1名
- ・相談支援従事者専門コース別研修（スーパービジョン・管理・面接技術）…1名
- ・相談支援専門員&介護支援専門員コラボレーション研修…2名
- ・相談支援アドバイザー研修…1名
- ・もしかして「大人の発達障害」？～支援の引き出しを増やそう～…1名
- ・精神保健福祉関係者基礎研修…1名
- ・山口県医療観察制度処遇協力者セミナー…1名
- ・障害者虐待防止体制の構築・充実の徹底に向けた研修会…1名
- ・市町設置手話通訳者研修（2回）…1名
- ・地域生活支援事業（意思疎通支援〔聴覚障害関係〕）に係るコーディネーター研修会（2回）…1名

ふたば園障害者就業・生活支援センターほっとわーく
平成 27 年度 事業報告

➤ 総括

センター事業開始から 7 年目となった 27 年度は、開所以来新規登録者数が最も少ない結果となった。この圏域内で地域生活されている多くの障がい者の方が、この 7 年間の事業活動により一般就労や福祉サービスによる福祉就労へ移行していった結果ではないかと実感している。

就労支援内容では、引き続き職場定着支援に関わる支援頻度が高く、雇用後しばらく安定されていた方が、担当者の交代や業務内容の変更などにより企業側からの再支援以来ケースも多かった事が特徴として現れていた。また、医療機関からの就労支援依頼の件数も多く、何度も関係機関での会議を必要とするケースが増えてきている。

また、毎年の事ですが生活支援に重点的に支援が必要な対象者が多く、就労担当者であっても生活支援に深く関わるケースもあり、引き続き相談支援事業所や医療機関・行政機関などの関係機関と連携し各機関で役割分担をしていく必要性を感じている。

新たに今年度は、主任職場定着支援担当者の配置があり、雇用管理等の相談を受け、助言したり、必要に応じて、支援策に係る他の支援機関等への連絡調整をしました。職場定着が難しいと考えられるケースには、問題の所在の特定に向けて、事業主の方と共に取り組みました。また、自ら職場定着支援も行いました。

➤ 障害者に対する相談・支援

- 支援対象障害者数 160 人
- 相談支援件数 2,205 件（職場訪問による職場定着支援 594 件）
- 就職件数 23 件

➤ 事業主に対する助言

- 支援対象事業所数 98 事業所
- 相談支援件数 760 件

職場実習および職業訓練等のあっせん

- あっせん件数 31 件

➤ 雇用安定事業

➤ ○職場定着促進のための在職者交流活動の実施

	開催日	参加人数	実施内容	実施場所
第 1 回	平成 27 年 6 月 28 日	19 名	心のケアについての勉強会	ルネッサ長門
第 2 回	平成 27 年 8 月 30 日	20 名	他地域（デパール）との交流	萩市
第 3 回	平成 27 年 12 月 13 日	24 名	下関消防防災学習館	下関市
第 4 回	平成 28 年 3 月 12 日	9 名	ほっとわーく交流会	萩市民館

議案第 1 号—1

○ふち交流会

26 年度に続き、年 4 回の在職者交流会の他に、「ふち交流会」と題し、小規模な茶話会形式での交流会を年 2 回実施した。日曜の交流会では参加できない方や、大人数が苦手な方が参加されており、お茶を飲みながら日頃の仕事の悩みや、日常生活について意見交換したり、相談できる場となっていた。引き続き、28 年度も継続して開催していきたい。

	開催日	参加人数	実施場所
第 1 回	平成 27 年 4 月 22 日	4 名	サンライフ萩 和室
第 2 回	平成 27 年 10 月 7 日	6 名	長門市地域医療連携支援センター

○関係機関との連絡会議の開催

- ・障がい者就業支援関係機関連絡会 実行委員会

	開催日	参加人数	協議内容
第 1 回	平成 27 年 4 月 21 日	15 名	27 年度計画、第 1 回連絡会案について
第 2 回	平成 27 年 8 月 20 日	15 名	第 1 回連絡会について
第 3 回	平成 27 年 12 月 8 日	11 名	第 2 回連絡会案について、次年度計画について

- ・障がい者就業支援関係機関連絡会

	開催日	参加人数	テーマ	開催場所
第 1 回	平成 27 年 11 月 4 日	31 機関 42 名	発達障害者の特性と関わり方について	市民館小ホール
第 2 回	平成 28 年 2 月 3 日	31 機関 44 名	発達障がいのある方への就労支援	

※連絡会議を通じて担当者との顔の見える関係作りができ、対象者支援の際に必要な情報提供や機関連携がスムーズにできている。

※第 2 回目では、地域の就労支援事業所に実際の支援状況について話題提供してもらい、北浦地域での課題が見えてきている為、今後に繋げていきたい。

○事業主に対するネットワーク支援活動の実施

- ・障がい者おしごとネットワーク北浦 実行委員会

	開催日	参加人数	協議内容
第 1 回	平成 27 年 5 月 14 日	12 名	27 年度計画、懇話会についての打ち合わせ
第 2 回	平成 27 年 7 月 9 日	10 名	懇話会の反省、見学会の打ち合わせ
第 3 回	平成 28 年 2 月 9 日	11 名	見学会の反省、次年度の企画について

・障がい者おしごとネットワーク北浦 研修会

	開催日	参加人数	開催内容
第 1 回	平成 27 年 6 月 16 日	40 社 41 名	北浦地域の企業懇話会、意見交換、制度説明
第 2 回	平成 27 年 9 月 10 日	18 社 19 名	萩総合支援学校高等部作業学習見学、座談会

ジョブコーチ支援事業

○配置数：1 名

○支援対象者数：1 4 名

➤ 広報・啓発活動

○季刊誌発行 年 4 回

○法人 HP（新着情報）への行事報告掲載 年 7 回

➤ 職員業務研修

○メンタルヘルスマネジメント研修 1 名

○平成 27 年度 児童・障害者(児)

福祉施設等中堅職員研修（6/15.26） 1 名

○障害者就業・生活支援センター事業ブロック別経験交流会議【岡山】（11/4）

当事業所主催の関係機関連絡会と日程が重なった為、不参加。

○主任就業支援担当者研修会 1 名

○主任職場定着支援担当者交流会 1 名

○障害者雇用促進セミナー 3 名

○サービス管理責任者等研修(共通講義)・(地域生活)(就労) 1 名

○雇用の分野における差別禁止・合理的配慮の説明会 4 名

《 総括 》

- ◆介護報酬のマイナス改定を受けて、介護報酬の減収とならないよう加算体制の強化に努める
→認知症実践者研修への申し込みを行ったが、希望者多数のため研修にもいかなかった。
- ◆現在使用していない特殊浴室を改修、一般浴室とし、現状の男女交代制入浴を男女同時入浴に変更し、入りたいときに入れる入浴環境を整える
→男女同時入浴について検討したが、入浴時の浴室とホールの職員配置に支障があると考え、困難と判断した。特殊浴室側の脱衣室の整備(床材の張替え、手すりの設置、脱衣棚の設置等)、隔週で男女の入浴順序変更、午後からの入浴へ取り組み等により、快適かつ効率的に入浴できる環境整備を行った。特殊浴槽を撤去し、洗濯干し場と収納倉庫へ転換したことで、業務の効率化と環境の改善を行うことができた。
- ◆利用者数の動向を注視しながら、サテライトデイサービスの導入を検討する
→利用者数、利用者状況についてはおおむね横ばいの状態である。さんみ苑における利用者の環境について検討し、8月に大幅に配置変更をした。その結果、利用者の身体状況に合わせた空間の2分化、転倒予防等に配慮した環境となった。
- ◆キャリア段位制度を積極的に導入し、質の高い介護職員の養成に努める。
→平成27年度、キャリア段位制度評価者1名の認定を受けている。キャリア段位制度認定者は計3名となっている。
- ◆事業プログラムの見直しを行い、身体も心も動き出すような能動的なサービス提供を展開していく
→慰問やボランティアの積極的な受け入れを行った。
(慰問…月1回:1団体、年1回:3団体/ボランティア…フラワーアレンジメント月1回、花壇整備年1~2回)道の駅さんさん三見への外出、カラオケのサービスを定期的に提供することで、利用者の楽しみ、刺激となっている。毎週月曜・金曜日にはパンの移動販売が利用でき、喜ばれている。

○利用者の状況および収益について(表1)

○在宅生活支援について

介護保険改正により、機能訓練加算算定において、3ヶ月に1度以上の居宅訪問を実施。機能訓練士を中心に看護師、介護職員、生活相談員が連携し、在宅生活の把握、助言と訓練計画の作成・実施をした。

○関係機関・団体との連携

萩市在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、他事業所等関係機関への情報提供や連携をし、適切な事業の活動を展開した。

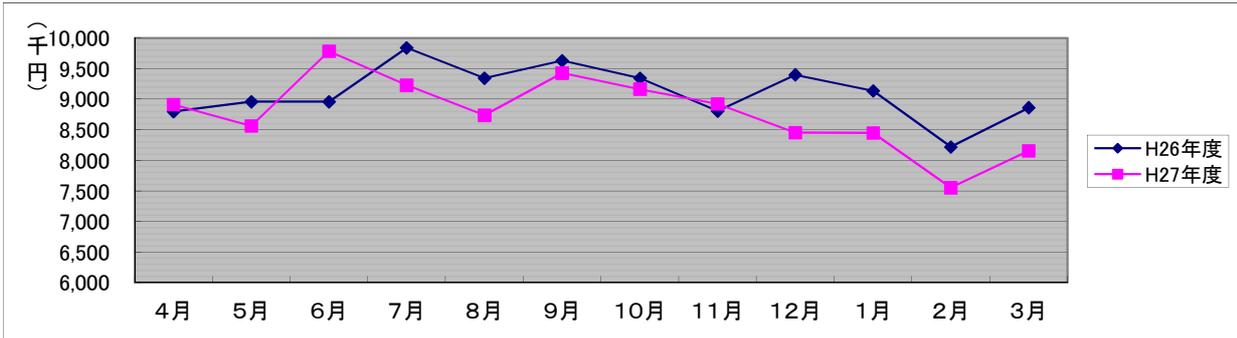
○地域への啓発

さんみ苑だよりを通じて行事や活動内容の紹介を継続的に行った。

表1: 対前年度収入比較 (概算利用者負担額含)

(単位: 千円)

H26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護保険	8,458	8,629	8,620	9,495	9,028	9,321	9,067	8,494	9,111	8,870	7,972	8,605	105,670
萩市介護予防	339	333	339	345	318	312	279	315	288	267	249	258	3,642
H27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護保険	7,720	7,404	8,602	8,070	7,533	8,200	7,940	7,710	7,282	7,402	6,457	6,950	91,270
一部負担額	888	861	851	891	949	947	925	905	881	765	817	919	10,599
萩市介護予防	228	225	249	201	192	210	225	231	219	213	207	222	2,622
利用者負担額	76	75	83	67	64	70	75	77	73	69	74	65	868
集計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H26年度	8,797	8,962	8,959	9,840	9,346	9,633	9,346	8,809	9,399	9,137	8,221	8,863	109,312
H27年度	8,912	8,565	9,785	9,229	8,738	9,427	9,165	8,923	8,455	8,449	7,555	8,156	105,359



前年度比 月別、介護度別利用回数

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
萩市介護予防	113	111	113	115	106	104	93	105	96	89	83	86	1,214
介護保険	921	935	921	1,027	972	1,010	986	905	1,001	959	864	938	11,439
要支援1	8	10	13	21	19	26	30	23	25	21	19	18	233
要支援2	42	45	40	36	32	44	33	40	47	55	49	71	534
介護1	331	345	330	369	345	354	346	309	362	331	313	323	4,058
介護2	197	198	182	202	186	175	182	179	177	168	157	164	2,167
介護3	177	172	187	197	195	199	178	155	184	178	164	184	2,170
介護4	72	79	72	97	85	105	106	93	114	116	97	96	1,132
介護5	94	86	97	105	110	107	111	106	92	90	65	82	1,145
利用計	1,034	1,046	1,034	1,142	1,078	1,114	1,079	1,010	1,097	1,048	947	1,024	12,653
稼働率	80%	80%	83%	88%	83%	86%	83%	81%	88%	84%	79%	82%	83%
介護保険事業のみ稼働率	74%	72%	71%	79%	75%	78%	76%	72%	80%	77%	66%	75%	75%

平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
萩市介護予防	76	75	83	67	64	70	75	77	73	69	74	65	868
介護保険	976	953	945	971	934	924	917	915	889	766	877	962	11,029
要支援1	15	21	21	21	19	19	20	23	20	21	24	25	249
要支援2	68	55	65	57	54	45	46	39	36	40	54	59	618
介護1	372	368	372	376	356	347	334	353	345	280	345	396	4,244
介護2	172	177	181	164	164	178	190	176	164	139	167	183	2,055
介護3	171	171	161	190	170	167	157	153	168	145	129	134	1,916
介護4	116	112	97	113	125	120	124	119	109	100	111	120	1,366
介護5	62	49	48	50	46	48	46	52	47	41	47	45	581
利用計	1,052	1,028	1,028	1,038	998	994	992	992	962	835	951	1,027	11,897
稼働率	81%	79%	82%	77%	77%	76%	76%	76%	74%	70%	76%	73%	76%
介護保険事業のみ稼働率	75%	73%	73%	72%	72%	71%	68%	70%	68%	64%	70%	69%	70%

◆平均介護度

平成26年	2.2
平成27年	2

※延べ利用者に対する入浴サービス利用者は78%であり、デイサービスでの入浴の必要性が高くなっている。

※男女比率は男性30.4%、女性69.6%となっている。

※H27年4月の介護保険改正において、新しく加算対象となった中重度ケア体制加算、認知症加算も算定基準から外れることなく、継続的に算定できている。

H27年度 居宅介護支援事業所事業報告

●総括事項

利用者受入数の上限が国によって定められており、その中で、利用者の状態を考慮しながら一人のケアマネジャーが担当できるケース数は限られてくるため、利用者の入院や施設入所等、数人の動きが収益等の結果に大きく反映されてくる。結果的には前年度を下回る事となったが、目立った苦情などもなく、利用者一人一人にきめ細やかなサービス提供がなされたと思う。

●収益（表1）

利用者数の推移として利用者数は増加しているが、介護報酬は減収となっている。その理由として認知症加算、独居高齢者加算が今年度より算定されなくなったこと、利用者の介護度が下がったことが考えられる。

●自己研鑽

各種研修に参加し、自己研鑽に努めた。

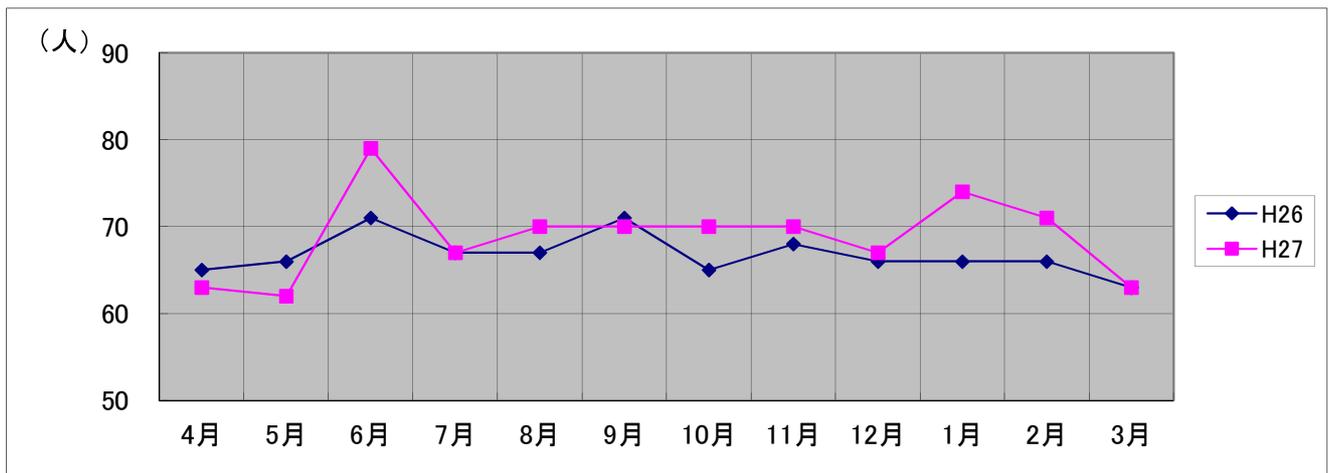
概ね毎月1回開催された、西包括支援センター主催の事例検討会に参加した。事業所内でも月1回の会議を持ち、意見交換を行った。

●関連機関との連携

各機関と連携の下、利用者にとってよりよいサービス提供が出来るよう努力した。

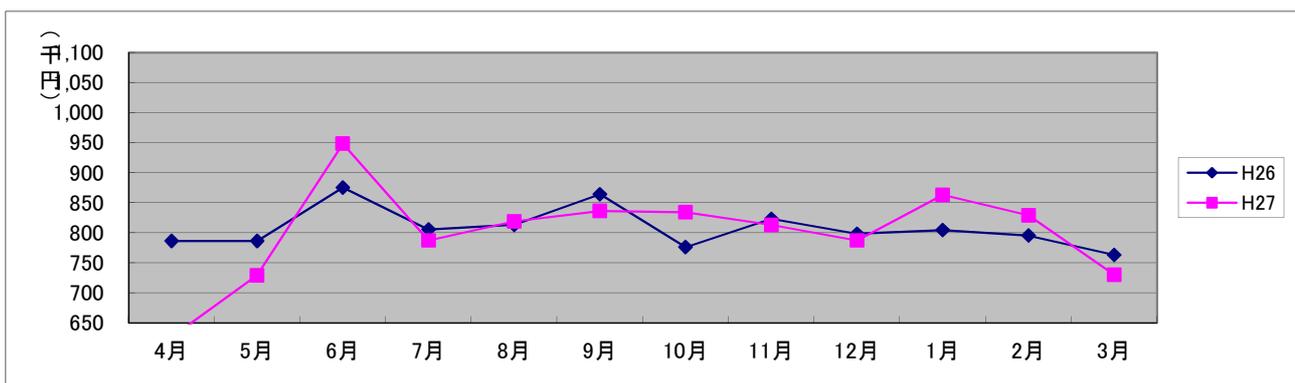
表1
対前年度利用者数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H26	65	66	71	67	67	71	65	68	66	66	66	63	801
H27	63	62	79	67	70	70	70	70	67	74	71	63	826



対前年度比介護報酬比較 (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H26	786	786	875	805	813	864	776	823	798	804	795	763	9,688
H27	626	729	948	787	819	836	834	813	787	863	829	730	9,601



在宅介護支援センターさんみ苑

【事業報告】

萩市の在宅福祉、住民に一番近い相談機関として、未把握者の掘り起こし、要援護の必要な高齢者、元気高齢者、およびその家族等に対して、在宅介護・介護予防・生活支援等に関する総合的な相談に応じました。個別のニーズを受け止め、適切な保健／医療／福祉、インフォーマルサービス等を紹介し、住民一人ひとりが安心して生活ができるよう関係機関に繋げ支援を行いました。また、地域全体の福祉向上のため、住民の状況および環境を十分把握し、地域におけるネットワークづくり、自立支援、介護予防という視点に立ち活動を展開しました。

- ◎ 各地域在宅介護支援センター、地域包括支援センター、民生委員、医療機関その他関係機関との連携を強化し、よりいっそう福祉の充実に向けて取り組みました。
- ◎ よりよい相談対応・支援を行うため、積極的に研修に参加し、相談員のスキルアップを図りました。

【重点事業報告】

- ◎ 啓発活動（さんみ苑便り発行／地域サロンへの参加）
- ◎ 他の在宅介護支援センターとの連携強化
- ◎ 相談員のスキルアップ（事例検討会への参加／地域在宅介護支援センター連絡協議会・勉強会への参加／各種研修への積極的な参加）
- ◎ 認知症予防（早期発見・早期対応）における本人や家族、地域への支援
- ◎ 「認知症施策推進5ヵ年計画(オレンジプラン)」を踏まえた活動
- ◎ 閉じこもり防止を目的とした訪問活動（サービス・社会資源等の説明、調整）
- ◎ 運動器の向上を目的とした事業・活動への協力・支援
- ◎ 処遇困難ケースに対する重点的な訪問活動・関係者との連携
- ◎ 介護保険制度に対する支援（介護保険サービスの説明／新規申請、更新時の手続き支援）
- ◎ 地域包括支援センターとの連携強化
- ◎ 各居宅介護支援事業所との連携強化
- ◎ 医療との連携強化
- ◎ 各民生委員との連携強化

以上のことを重点とし、活動を行いました。

平成27年度 萩市在宅介護支援センターさんみ苑 実績

○ 相談実績累計

	相談形態別累計						その他	夜間	台帳登録者数
	電話	来所	訪問	FAX	その他	計	調整回数	(再掲)	実数
H26	495	24	471	8	223	1221	138	55	0
H27	708	46	503	44	311	1612	74	7	0

(H27) その他調整回数、夜間は入力漏れ、地域住民、民生委員、家族からの電話や来所されての相談が増えた。

○ 相談内容累計

	生活支援・予防事業											介護保険サービス			医療			認知							
	配食	外出支援	乾燥消毒	寝具類洗濯	ヘルプサービス	生活援助ホーム	訪問理美容	介護予防・特定	デイサービス	生活支援	ショートステイ	生活支援	緊急通報装置	家族介護者支援	その他福祉サービス	在宅サービス	施設サービス	その他	入院	退院	その他	本人	家族・親族	関係機関	その他
H26	172	3	12	3	4	246	0	0	357	36	38	100	0	107	5	47									
H27	217	0	0	1	8	188	32	27	345	68	34	16	10	283	17	5	232	94	17	2	68				

	精神疾患				家族・親族		虐待				成年後見			その他			合計※1		
	精神疾患	アルコール依存	閉じこもり	その他	家族親族間トラブル	地域トラブル	その他	高齢者	障害者	一般	その他	市長申し立て	高齢者	障害者	その他	権利擁護		実態把握	その他
H26					36										2			316	1484
H27	3	3	10	46	0	5	47	0	0	0	1	0	1	0	3	2	177	389	2351

(H27) 民生委員さんとの連携により独居高齢者の緊急通報装置新規設置の相談が増えた。

○ 対応実績累計

	相談	情報提供	連絡調整	家庭訪問	取次斡旋	ケース検討	申請代行	会議	研修	苦情	その他	合計	サービス適用実人員	サービス開始人数
H26	409	724	674	421	20	38	88	15	0	9	202	2600	335	102
H27	737	396	541	484	81	15	108	17	0	1	538	2918	336	108

(H27) 全体的に相談件数が増えたため、関係機関との調整を密に行い対応した。

○ 実態把握実人数実績累計

	対象者区分			その他	合計
	高齢※2				
	障害	生保			
H26	298	15	3	2	318
H27	171	9	1	1	182

(H27) 面談し変わりがなければADLを入力しなかった。

○ 支援計画作成実人数実績累計

	対象者区分			その他	合計
	高齢				
	障害	生保			
H26	2	0	0	0	2
H27	11	1	0	0	12

(H27) 二次予防参加者、給食サービス新規の支援計画作成が増えた

○ 広報・啓発活動等累計

	パンフレット配布 (枚)	任意訪問 (件数)
H26	0	0
H27	0	1

(H27) 介護保険のパンフレット配布や民間サービスのチラシでの情報提供など継続して行っている

○ 対象者累計

	対象者区分						
	一般高齢者	介護保険		障害	母子	一般	その他
		予防給付	要介護				
H26	707	103	332	20	0	1	82
H27	1033	101	402	55	0	1	0

H27はその他は「一般高齢者」欄含めた

○ 実態把握加算の実績

	実施月												合計※2
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
H26	18	26	23	30	28	30	22	16	37	22	21	25	298
H27	25	14	12	20	8	10	12	6	7	11	28	18	171

ADLの把握は行ったが入力をしなかった。

○ 介護予防支援計画作成加算の実績

	実施月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
H26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H27	0	0	0	2	2	2	0	1	1	0	1	2	11

二次予防参加者が増えた。新規給食サービス利用が増えたため。

○ 求めている支援類型

	ケアマネジメント	社会資源の紹介	対人援助	制度説明確認	研修学習	個人の悩み事	同行訪問	その他	合計※2
H26	0	17	467	443	0	150	11	3	1091
H27	0	36	734	605	0	4	15	246	1640

(H27) 制度に結びつかなくても話を傾聴したり、制度の説明を丁寧に行い、信頼関係の構築に努めた

平成 27 年度さんみ苑給食提供業務事業報告

◆個人個人に合った食事提供

- ・障がい部門では、個人個人の食事摂取状況を把握し、口腔内(歯)や嚥下の状態に合う食事形態の検討、実施に努めた。また、提供後の残食量の把握、体重の変化等にも気を配り、支援員・看護師等と連携を取りながら、食事提供量の見直しや問題点の把握・検討に努めた。
- ・デイサービス部門では、利用者の食事形態・嗜好に添った食事提供の打ち合わせを毎日実施し、ニーズに合った食事提供を検討・実施が出来るよう努め、食事提供後も食事状況を確認し、その都度検討・調整を行った。

◆地元食材の活用

道の駅等を活用し、地元の旬の食材を仕入れ、季節に合わせた食事提供や郷土食の提供に力を入れた。

◆調理職員の研修

嚥下食や療養食、関連法規等の研修に参加し、新しい情報を取り入れ、研修時の他施設職員との食事提供の情報交換等にも力を入れた。現場の調理スタッフも内部研修を行い、刻み食・ミキサー食等の提供形態の確認、提供量の徹底等に努めた。また、食事提供後の利用者様の食事摂取状況の把握も調理スタッフで行い、食事介助を行う職員との意見交換が出来た。